

栃木県足利市で商工会議所などが中心になって進めている「足利5S学校（足利5S推進ネットワーク協議会）」が全国の注目を集め始めている。整理、清掃、整頓、清潔、しつけの5項目を徹底させる5S活動を企業や行政、教育現場で徹底させようという試みだ。

中でも自らが率先して活動に取り組むような人材を育成することを重視しており、中世からの歴史がある史跡「足利学校」にちなんで、活動の名称に学校という文字を入れている。5Sは生産性向上につながる活動として広く知られている



見学会では真剣な質疑応答がなされた

「足利5S学校」全国から注目

足利5S推進ネットワーク協議会は、具体的な施策は様々だろうが、基本的には自助努力しかない。

が、町ぐるみで取り組むとムセンターの売り場を参考に資材・道具置き場を整備したことを、活動に取り組む前の乱雑な様子の写真を交えながら説明。あくまでもポトムアップの活動と位置付け、期限を区切り、他の地域に足利流の5Sを

観光植物園のおしかがフラーパークで開かれた見学会には事務局を除き、16社から約30人が参加した。フラワーパーク側は園内のフードコーナーのキッチンを整頓するためにレジの配線を見直したこともホー

ずに進めていることも強調し、普及させることを目指す。足利の5Sに対する関心が今後、高まるのは間違いない。円相場が1ドル＝80円を割り込む水準が続くなか、生産の空洞化の懸念は日ごと強まっている。そのなかで中堅・中小企業はどう生き残りをはかるのか。

その点、自助努力できる人材を育てることに重きを置く足利5S学校は、まさに時流に合った活動といえるだろう。今後、企業の「足利詣」が増えそうだ。

（宇都宮支局長 小口道徳）

こだま



北関東

水戸市
つくば市
宇都宮市
前橋市